

秘

海軍公報 第四九四三號

昭和二十年二月二十七日
海軍大臣 菅野 俊 受

○令 達

内令第一五三號

伊號第二百五五潜水艦

右本籍ヲ吳鎮守府卜定メラル

昭和二十年二月十五日

海軍大臣

内令第一六六號

特設船舶警戒部處務規程中左ノ通改正ス

昭和二十年二月二十五日

海軍大臣

第六條表中

高雄 船舶警戒部高雄支部

高雄

船舶警戒部高雄支部

釜山

船舶警戒部釜山支部

上海

船舶警戒部上海支部

ニ改ム

(内令提要卷一、三八ノ七ニノ四頁参照)

○遺 牒

秘海軍公報 第四九四三號 昭和二十年二月二十七日

軍需二機密第二四六號

昭和二十年二月二十六日

海軍省 海軍航空本部長

關係各廳長殿

補助耐爆噴射燃料用防蝕劑ニ關スル件通牒

昭和十八年軍需機密第二二二號及昭和十九年軍需二機密第八三八號ニ依リ補助耐爆噴射燃料用防蝕劑トシテ「クロム酸カリ」及乳化防蝕油ヲ使用ノコトニ通牒濟ノ處其ノ後實用ノ結果差當リ「クロム酸カリ」ノ使用ヲ禁ジ乳化防蝕油ヲ使用ノコトニ定メラレ候

追テ南方等ニ於テ乳化防蝕油ノ入手困難ナル場合ハ在庫ノ「クロム酸カリ」ヲ使用差支ナキ義ト了知相成度

○雜 款

○司令驅逐艦變更

第四十三驅逐隊司令ハ一月九日司令驅逐艦ヲ驅逐艦梅ニ變更セリ

○將旗移揚

本職二月十二日將旗ヲ門司廳舎ニ移揚セリ
(第一護衛艦隊司令部)

○集會所設置
領海外交社京城集會所ヲ一月一日京城府中區旭町二丁目七八番地ニ設置セリ
(領海外交社)

○事務開始

事務所名	設置場所	事務開始日	電話	記事
編逐艦艇裝具事務所	舞鶴海軍工廠内	二月六日		
第百五十六號海防艦艇裝具事務所	播磨造船所内	二月六日		
海防總志賀艦艇裝具事務所	佐世保海軍工廠内	二月〇日	工廠 一三五六番	
海防艦伊王艦艇裝具事務所	同 右	二月〇日		
波號第百十二潜水艦艇裝具事務所	三菱造船株式會社神戸造船所内	二月三日		

○派遣隊復歸

左記派遣隊ハ今般本隊ニ復歸セリ

記

派遣隊名	復歸月日
厚木派遣隊	昭和二十年二月六日
鹿島派遣隊	二月十四日
大井派遣隊	二月十七日

(横須賀海軍航空隊)

○事務所撤去

事務所名	撤去月日	記事
第百八十六號海防艦艇裝具事務所	二月十五日	
海防艦男鹿艦艇裝具事務所	二月二〇日	
波號第百五潜水艦艇裝具事務所	二月十九日	

○追加

一月十八日附秘海軍公報令達欄内令第三四號末尾ニ「第二十五特別根據地隊」ヲ「第二十五根據地隊」ニ改ム」ヲ追加ス

○本日軍械秘海軍公報第八六號(乙配付)發行セリ
配付先

關係各司令部、横須賀、吳、佐世保、舞鶴各海軍人事部、
吳海軍工廠、海軍潜水學校、館山海軍砲術學校



海軍公報

第四九四號

昭和二十年二月二十八日
海軍大臣官房

○令 達

官房教機密第九五號

海軍部隊練習生教育規程中左ノ通改正ス

昭和二十年二月二十七日

海軍大臣

第二條表中練習生ノ種別欄「普通科機雷術練習生」ノ次ニ「普通科水術練習生」ヲ加フ

(參照) 內令提要卷二、五〇八ノ一頁

○通 牒

兵備四機密第二〇〇號

昭和二十年二月二十六日

海軍省兵備局長

關係各廳長殿

昭和二十一年度陸軍戰時召集延期ノ資料ニ關スル件取會

首題ノ件ニ關シ昭和十八年兵備四機密第四〇〇號(昭和十八年五月十五日海軍公報(部內限)參照)別冊戰時召集延期實施要領(一般用)第一號第二項(昭和十九年兵備四機密第五〇〇號

海軍公報 第四九四號 昭和二十年二月二十八日

ノ四(昭和十九年十二月十六日海軍公報參照)ニ依リ戰時召集延期實施要領別紙第三様式改正)ニ基キ左記ニ依リ調査ノ上來三月二十日迄ニ到着スル様通報相成度
追テ昨年各部局ヨリ通報ノ兵役關係者員數中ニハ相當杜撰ノモノ有之爲ニ折角戰時召集延期候補者ノ割當ヲ爲シタルモ該當者ナク不都合ヲ生ゼシ例有之候條本年ハ絕對ニ斯ルコトナキ様留意相成度

尙內地以外ノ地ニ在ル廳ニ於テハ所在地最寄ノ陸軍最高指揮官ニ協議スルモノトシ本通報ニハ不及候

記

- 一 兵役關係人員調査表ハ事務系及技術系ニ分チテ之ヲ調製スルモノトス
- 二 海軍省軍需局、海軍省醫務局、海軍艦政本部、海軍航空本部及海軍施設本部關係ノ作業廳並ニ民間工場、海軍運輸本部關係ノ作業廳及各鎮守府、警備府、海軍省經理局並ニ水路部關係ノ地方統制工業、其ノ他ノ民間工場ニ就テハ夫々當該系部局又ハ鎮守府、警備府ニ於テ兵役關係人員調査表ヲ取纏メノ上通報スルモノトス

○雜 款

○開廳 閉隊		官衙、部隊名	所在地	開廳、閉隊日	記 事
		第三回時海軍航空隊	愛別縣碧海郡矢作町大字北野	二月一日	省旅行順路 一、省線 二、大寺線 三、大寺線 四、大寺線 五、大寺線 六、大寺線 七、大寺線 八、大寺線 九、大寺線 十、大寺線 十一、大寺線 十二、大寺線 十三、大寺線 十四、大寺線 十五、大寺線 十六、大寺線 十七、大寺線 十八、大寺線 十九、大寺線 二十、大寺線 二十一、大寺線 二十二、大寺線 二十三、大寺線 二十四、大寺線 二十五、大寺線 二十六、大寺線 二十七、大寺線 二十八、大寺線 二十九、大寺線 三十、大寺線 三十一、大寺線 三十二、大寺線 三十三、大寺線 三十四、大寺線 三十五、大寺線 三十六、大寺線 三十七、大寺線 三十八、大寺線 三十九、大寺線 四十、大寺線 四十一、大寺線 四十二、大寺線 四十三、大寺線 四十四、大寺線 四十五、大寺線 四十六、大寺線 四十七、大寺線 四十八、大寺線 四十九、大寺線 五十、大寺線 五十一、大寺線 五十二、大寺線 五十三、大寺線 五十四、大寺線 五十五、大寺線 五十六、大寺線 五十七、大寺線 五十八、大寺線 五十九、大寺線 六十、大寺線 六十一、大寺線 六十二、大寺線 六十三、大寺線 六十四、大寺線 六十五、大寺線 六十六、大寺線 六十七、大寺線 六十八、大寺線 六十九、大寺線 七十、大寺線 七十一、大寺線 七十二、大寺線 七十三、大寺線 七十四、大寺線 七十五、大寺線 七十六、大寺線 七十七、大寺線 七十八、大寺線 七十九、大寺線 八十、大寺線 八十一、大寺線 八十二、大寺線 八十三、大寺線 八十四、大寺線 八十五、大寺線 八十六、大寺線 八十七、大寺線 八十八、大寺線 八十九、大寺線 九十、大寺線 九十一、大寺線 九十二、大寺線 九十三、大寺線 九十四、大寺線 九十五、大寺線 九十六、大寺線 九十七、大寺線 九十八、大寺線 九十九、大寺線 一百、大寺線
		第七二二海軍航空隊	茨城縣鹿島郡高松村神ノ池航空基地	二月一日	轉勤者赴任先 一、同隊 二、同隊 三、同隊 四、同隊 五、同隊 六、同隊 七、同隊 八、同隊 九、同隊 十、同隊 十一、同隊 十二、同隊 十三、同隊 十四、同隊 十五、同隊 十六、同隊 十七、同隊 十八、同隊 十九、同隊 二十、同隊 二十一、同隊 二十二、同隊 二十三、同隊 二十四、同隊 二十五、同隊 二十六、同隊 二十七、同隊 二十八、同隊 二十九、同隊 三十、同隊 三十一、同隊 三十二、同隊 三十三、同隊 三十四、同隊 三十五、同隊 三十六、同隊 三十七、同隊 三十八、同隊 三十九、同隊 四十、同隊 四十一、同隊 四十二、同隊 四十三、同隊 四十四、同隊 四十五、同隊 四十六、同隊 四十七、同隊 四十八、同隊 四十九、同隊 五十、同隊 五十一、同隊 五十二、同隊 五十三、同隊 五十四、同隊 五十五、同隊 五十六、同隊 五十七、同隊 五十八、同隊 五十九、同隊 六十、同隊 六十一、同隊 六十二、同隊 六十三、同隊 六十四、同隊 六十五、同隊 六十六、同隊 六十七、同隊 六十八、同隊 六十九、同隊 七十、同隊 七十一、同隊 七十二、同隊 七十三、同隊 七十四、同隊 七十五、同隊 七十六、同隊 七十七、同隊 七十八、同隊 七十九、同隊 八十、同隊 八十一、同隊 八十二、同隊 八十三、同隊 八十四、同隊 八十五、同隊 八十六、同隊 八十七、同隊 八十八、同隊 八十九、同隊 九十、同隊 九十一、同隊 九十二、同隊 九十三、同隊 九十四、同隊 九十五、同隊 九十六、同隊 九十七、同隊 九十八、同隊 九十九、同隊 一百、同隊
		第三航空艦隊軍法會議	千葉縣木更津市木更津航空基地	二月十七日	期便又ハ佐原村 一、期便 二、又ハ 三、佐原 四、村 五、期便 六、又ハ 七、佐原 八、村 九、期便 十、又ハ 十一、佐原 十二、村 十三、期便 十四、又ハ 十五、佐原 十六、村 十七、期便 十八、又ハ 十九、佐原 二十、村 二十一、期便 二十二、又ハ 二十三、佐原 二十四、村 二十五、期便 二十六、又ハ 二十七、佐原 二十八、村 二十九、期便 三十、又ハ 三十一、佐原 三十二、村 三十三、期便 三十四、又ハ 三十五、佐原 三十六、村 三十七、期便 三十八、又ハ 三十九、佐原 四十、村 四十一、期便 四十二、又ハ 四十三、佐原 四十四、村 四十五、期便 四十六、又ハ 四十七、佐原 四十八、村 四十九、期便 五十、又ハ 五十一、佐原 五十二、村 五十三、期便 五十四、又ハ 五十五、佐原 五十六、村 五十七、期便 五十八、又ハ 五十九、佐原 六十、村 六十一、期便 六十二、又ハ 六十三、佐原 六十四、村 六十五、期便 六十六、又ハ 六十七、佐原 六十八、村 六十九、期便 七十、又ハ 七十一、佐原 七十二、村 七十三、期便 七十四、又ハ 七十五、佐原 七十六、村 七十七、期便 七十八、又ハ 七十九、佐原 八十、村 八十一、期便 八十二、又ハ 八十三、佐原 八十四、村 八十五、期便 八十六、又ハ 八十七、佐原 八十八、村 八十九、期便 九十、又ハ 九十一、佐原 九十二、村 九十三、期便 九十四、又ハ 九十五、佐原 九十六、村 九十七、期便 九十八、又ハ 九十九、佐原 一百、村
○隊名變更		舊部隊名 第三十四震洋隊、伊藤部隊			
		新部隊名 第百十三震洋隊、伊藤部隊			
		(第百十三震洋隊)			
○事務開始					

事務所名	設置場所	事務開始日	電 話	記 事
虎尾海軍航空隊	盛中州豊原郡大雅庄	三月三日	盛中一五六二番	三三基地移駐
海防艦伊藤裝具員事務所	戸六番地浦賀造船所内	二月九日		
第四十二魚雷調整班	豊橋航空基地内	二月十七日		

○轉勤者赴任先
當隊(戰團第三〇一、同第四〇一、同第四〇二、同第四〇七、同第七〇一、偵察第四飛行隊ヲ含ム)ヘノ轉勤者ハ松山市生石町松山航空基地ニ向ケ赴任セシメラレ度
追テ旅費ハ同基地迄前金拂(家族移轉料支給上ノ勤務地ハ松山市)ノコトニ取計ハレ度 (第三四三海軍航空隊)

○本日軍機秘海軍公報第八七號(乙配付)發行セリ
配付先
關係各司令部、横須賀、吳、佐世保、舞鶴各海軍通信隊、横須賀、防府各海軍通信學校、横須賀海軍通信學校豊川分校

○本日海軍公報發行セズ